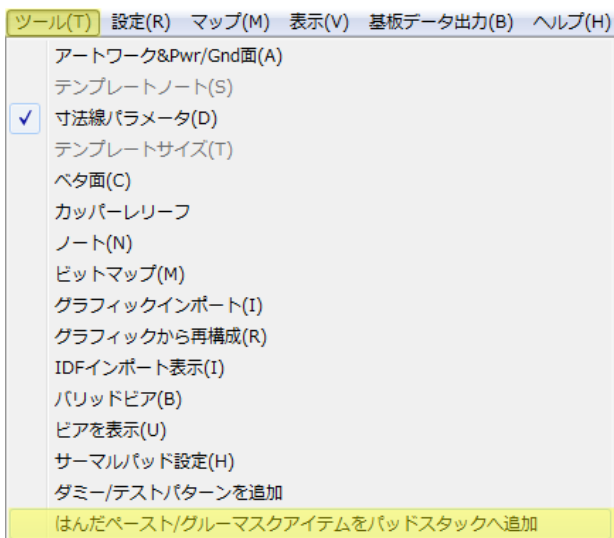


製作マネージャ メタルマスクデータ作成

表面実装部品のパッドに対してメタルマスクデータを作成することが可能です。ここでは実装パッドに対してメタルマスクの穴を 1 割程度小さくして作成する手順を記載します。



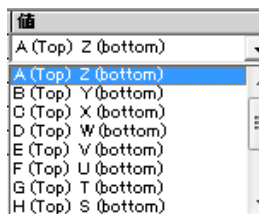
製作マネージャを起動、メニュー「ツール」からはんだペースト/グルーマスクアイテムを「パッドスタックへ追加」を選択します。

メタルマスクデータ作成



設定画面が開きます。

はんだペースト/グルーマスク：作成するレイヤを選択
作成は使用していない内層レイヤへ作成し、選択したペアのレイヤ部品面・半田面へ作成されます。



アイテム形状：データの形状を選択

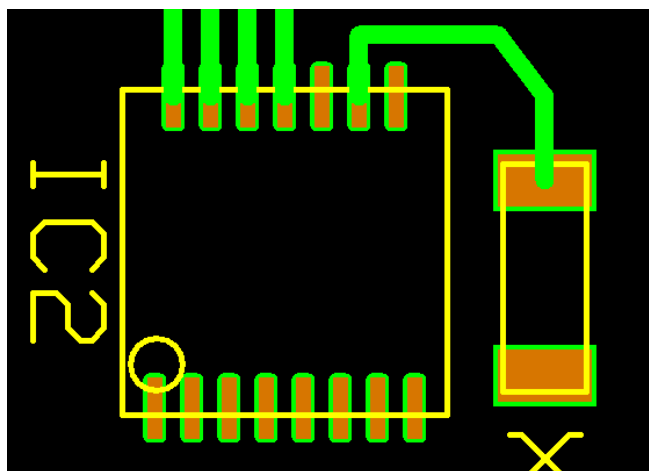
サイズ調整：パーセンテージまたは増加/減少の変化の値を選択

パッドフレームレイヤ：COMPLAYER を選択

パーセンテージ：90%(パッドより 1 割小さくする場合)

サイズ調整	増加/減少の変化の値
パッドフレームレイヤー	COMPLAYER
--長さ増加(+)/減少(-)	-0.200mm
--幅_増加(+)/減少(-)	-0.200mm

増加/減少の変化の値を選択した場合は、長さ・幅の増加/減少の値を入力します。

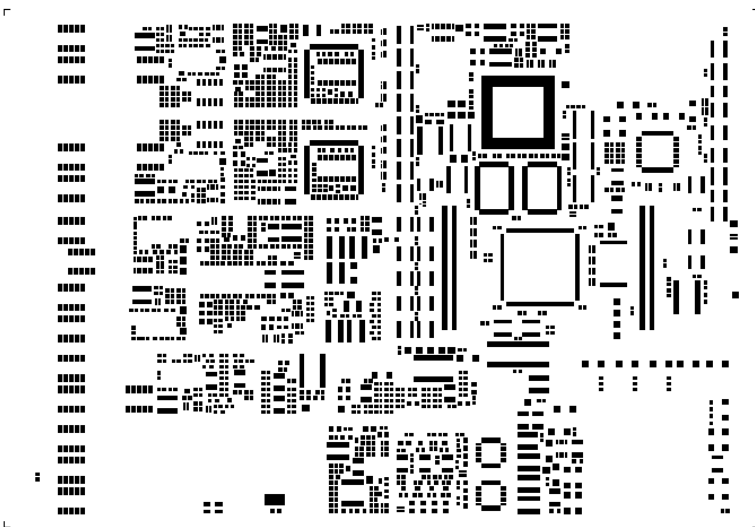


承認をクリックします。データが作成されます。

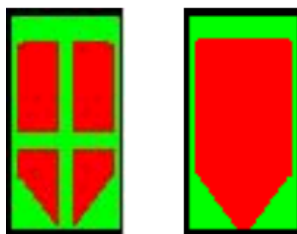
出力は作成したレイヤヘチェックを入れ、下記項目にチェックを入れます。

- ・ 基板外形(基板外形の隅へ印が入ります)
- ・ 部品(TOP)面 SMD パッド

それ以外の項目のチェックを外し出力します。



ガーバーデータとして出力されます。



【補足】
左のようなメタルマスクデータの形状の編集やテキストの作成には弊社より販売しています、CircuitCAM7 または GerbTool の使用をおすすめします。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

LASER TEXT
LASER TEXT